
旅立ち

DHMO

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

旅立ち

【Nコード】

N3911T

【作者名】

DHMO

【あらすじ】

ある朝の、ある男の出来事。最後の一文まで良く咀嚼してお読み下さい

(前書き)

これは作者が文化祭で出すかもしれない短編です。なので、おかしな所にはどんどん突っ込んで下さい。

今日は久し振りに早く目が覚めた。昨夜も寝つきが悪かったのを思い出して、ふと小学校の遠足の様だと感慨に耽る。あの頃は純粹で、疑う事を知らずに平和に暮らしていたな、と。何故か今日はなにもかもを懐かしく感じてしまう。

布団の中で目を開けたまま横になってみると、窓の外が明るくなってきたのが見えた。これはいけない、早く支度をしよう。

例え時間に余裕があっても予定があると思うと急いでしまうのが人の常。私もその例に違わず、思いの外早く支度が済んでしまった。部屋の壁に掛かった姿見に写っているのは、この日の為に買っておいた新品のスーツに身を包んだ自分の姿。馬子にも衣装、と言う言葉が頭に浮かんでしまう様な姿だ。

手には空になったシガーケースとライターがある。この二つも自分には分不相応としか言いようが無い。豪華なものは人を選ぶと言うのは本当の様だ。

両親への連絡はしていないが、なに、息子がいきなり自分の元に来ても驚きこそすれ疎みはしないだろう。それとも、もう迎える準備をしてくれてるのだろうか。

最後に気になったのは首回り。やはりキツく絞めてしまったが、すぐに慣れる筈だ。

くわえていた煙草を灰皿に投げ入れ、深呼吸と共に紫煙を吐き出す。名残惜しい気もするが、煙草ともお別れになってしまう。昔は健康の為に禁煙と言っていたのに、いざ止めるとなると寂しいものだ。

さて、そろそろいくかと思った瞬間、部屋の中が黄金色に照らし出された。まるで太陽が新しい門出を祝うかの様に、暖かな光を投げかけている。お天道様にまで後押しされているなら、もういくしかないな。

足元の台を蹴った。

(後書き)

短編過ぎなくもない気もしないもない。まあ気にしない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3911t/>

旅立ち

2011年7月27日22時34分発行